

令和8年度 年間授業計画

教 科：情報 科 目：情報Ⅱ 単位数：2

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	情報Ⅱ（東京書籍）
	補助教材：	30時間でマスターHTML、CSS（実教出版）

教科（ 情報 ）の目標

【知 識 及 び 技 能】	情報の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

科目（ 情報Ⅱ ）の目標

【知 識 及 び 技 能】	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータ活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解ふおふかめるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う

令和8年度 年間授業計画 科目（情報Ⅱ）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元	情報社会に生きるわたしたち①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
情報Ⅱで学ぶ内容を理解している	情報Ⅱで身に着けるべき資質、能力を理解する	情報Ⅱで学ぶ内容を理解している	情報Ⅱで学ぶ内容を理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報Ⅱで学ぶ内容について、自らとつなげて具体的な活用方法が考察できる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報Ⅱで学ぶ内容について、自らとつなげて具体的な活用方法が考察できる		○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報Ⅱの内容に興味関心を示している	課題の配付	情報Ⅱの内容に興味関心を示している					
単元	情報社会に生きるわたしたち②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
情報Ⅰで学んできた内容を理解している	Society5.0について理解し、今後身に着けるべき必要な力について理解する	情報Ⅰで学んできた内容を理解している	情報Ⅰで学んできた内容を理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報Ⅰで学んだ内容に関して、情報Ⅱとつなげて具体的に発展させた活用方法が考察できる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報Ⅰで学んだ内容に関して、情報Ⅱとつなげて具体的に発展させた活用方法が考察できる		○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報Ⅰの内容に繋げて情報Ⅱを学ぶにあたって、意欲的な態度がみられる	課題の配付	情報Ⅰの内容に繋げて情報Ⅱを学ぶにあたって、意欲的な態度がみられる					
定期考査（中間考査）/返却と解説							
単元	情報社会の進展と情報技術①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
情報技術の発展の歴史を踏まえ情報社会の進展について理解している	情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展について理解する	情報技術の発展の歴史を踏まえ情報社会の進展について理解している	情報技術の発展の歴史を踏まえ情報社会の進展について理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報技術、情報社会の在り方について考察している	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報技術、情報社会の在り方について考察している		○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報技術の発展の歴史に興味関心を示している	課題の配付	情報技術の発展の歴史に興味関心を示している					
単元	情報社会の進展と情報技術②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解している	情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解する	情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解している	情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
コミュニケーションの多様な社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察している	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	コミュニケーションの多様な社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察している		○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について興味関心を示している	課題の配付	情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について興味関心を示している					
定期考査（期末考査）/返却と解説							

1
学
期

令和8年度 年間授業計画 科目 (情報Ⅱ)

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元	コミュニケーションとコンテンツ①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している	多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解する	多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などの選択肢の組み合わせを考案することができる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などの選択肢の組み合わせを考案することができる		○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について興味関心を示している	課題の配付	多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について興味関心を示している					
単元	コミュニケーションとコンテンツ②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
文字、音声、静止画、動画、を組み合わせたコンテンツの作成を身に着けている	コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解する	文字、音声、静止画、動画、を組み合わせたコンテンツの作成を身に着けている					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報デザインに配慮してコンテンツを作成し、評価し、改善を加えることができる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報デザインに配慮してコンテンツを作成し、評価し、改善を加えることができる		○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
文字、音声、静止画、動画、を組み合わせたコンテンツの作成に興味関心を示している	課題の配付	文字、音声、静止画、動画、を組み合わせたコンテンツの作成に興味関心を示している					
定期考査（中間考査）/返却と解説							
単元	情報とデータサイエンス①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解している	データサイエンスが社会に果たす役割について理解する	多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解している					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目的に応じて適切なデータを収集し、整理し、整形することができる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	目的に応じて適切なデータを収集し、整理し、整形することができる		○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について興味関心を示している	課題の配付	多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について興味関心を示している					
単元	情報とデータサイエンス②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
データの基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈、表現する方法について理解している	データに基づく現象のモデル化やデータの処理を行う解釈や表現する方法について理解する	データの基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈、表現する方法について理解している					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
将来の現象の予測をしたり、複数の現象間の関連を明らかにするための解釈、表現ができる	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	将来の現象の予測をしたり、複数の現象間の関連を明らかにするための解釈、表現ができる		○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
データの基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈、表現する方法について興味関心を示している	課題の配付	データの基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈、表現する方法について興味関心を示している					
定期考査（期末考査）/返却と解説							

2
学
期

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元	情報システムとプログラミング①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している		情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解する	情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報システム及びそれによって提供されるサービスについてその在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察できる		教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報システム及びそれによって提供されるサービスについてその在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察できる	○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について興味関心を示している		課題の配付	情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について興味関心を示している				
単元	情報システムとプログラミング②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
情報システムを構成するプログラムを制作する方法について理解し技能を身に着ける		情報システムを構成するプログラムを制作する方法を理解する	情報システムを構成するプログラムを制作する方法について理解し技能を身に着ける				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報システムを構成するプログラムを制作しその過程を評価し改善すること		教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報システムを構成するプログラムを制作しその過程を評価し改善すること	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報システムを構成するプログラムを制作する方法について興味関心を示している		課題の配付	情報システムを構成するプログラムを制作する方法について興味関心を示している				
単元	情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができる		情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究を通して情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するために知識技能を深化させる	これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
課題を通して今まで学んだスキルを活かし、論理的判断力、問題解決能力を使い表現することができる		教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	課題を通して今まで学んだスキルを活かし、論理的判断力、問題解決能力を使い表現することができる	○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことに興味関心がある		課題の配付	これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことに興味関心がある				
単元	情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができ、かつチームワークで効果を上げることができる		情報化社会において新たな価値を創造しようとする態度を養う	これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができ、かつチームワークで効果を上げることができる				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
課題を通して今まで学んだスキルを活かし、論理的判断力、問題解決能力を使い表現することでチームで取り組むことができる		教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	課題を通して今まで学んだスキルを活かし、論理的判断力、問題解決能力を使い表現することでチームで取り組むことができる	○	○	○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができ、かつチームワークで効果を上げることに興味関心がある		課題の配付	これまで学んだことを総合的に生かした課題を設定して取り組むことができ、かつチームワークで効果を上げることに興味関心がある				
定期考査（期末考査）/返却と解説							
							合計
							58

3
学
期